

路傍伝道ネットワーク顧問コラム

弁護士 佐々木 満男(ささき みつお)

「人のせいにしない」

多くの問題の原因は人間関係のもつれにある。それを相手のせいにすると、その人を恨み続けてしまう。次第に、すべての物事を否定的に考えてしまい、家族や他の人との関係もうまくいけなくなり、自分の心も体も病んでいく。

Aさんは病気の治療のために医師の手術を受けたが、軽い後遺症が出てしまった。彼は毎週その病院に通い担当医を責め立てた。「お前のせいでこんなひどい目にあっているんだ。手術して元に戻せ!」と、周りに聞こえるほどの大声で叫ぶ。困りはてた医師は、警察に通報し彼を逮捕してもらった。

Aさんは、突然の逮捕に激高して警察官に暴力を振るったため、警察は彼を精神異常者とみなし強制措置入院させた。

数か月して退院したが、彼は医師をもっと恨みつづけた。夫婦関係も悪くなり離婚。会社でトラブルを起こして解雇。その後はコンビニで働いたが、店の品物を何度か万引して有罪判決を受ける。さらに、精神的ストレスでさまざまな体の病気を発症し、障害者に認定された。

Bさんは、相手の過失による交通事故で瀕死の重傷を負い、身体障害者1級に認定される。その後、真面目に働いて事業に成功し、若くして大きな財産を築いた。



若手起業家たちに成功してほしいと思い、起業家セミナーを開いたり、資金援助をしたりして、具体的に指導した。ところが、資金援助した相手が失敗して倒産したため、Bさんは全財産を失ってしまう。

さらに運が悪いことに、詐欺師に騙され多額の借財を負う。詐欺の訴訟を依頼された時に、私がクリスチャンであることを証ししたところ、彼はその場でキリストを信じて救われた。

その後、彼と結婚を約束して付き合っていた女性が、金持ちの男に誘惑されて子どもができてしまった。彼女は男に捨てられ、産まれたばかりの赤ん坊を連れてBさんの元に戻った。彼は何も言わずに、彼女と結婚し、その子を自分の養子にして可愛がっている。彼は、事故の加害者、倒産した若手起業家、騙した詐欺師、浮気した婚約者の誰をも恨んでいない。

「どうして人を恨まないのですか?」と尋ねると、「いやあ、すべては自分の成長のために良い人生勉強だと思ひ、すべての出来事を神様に感謝しています」と言う。「ありがたいことに、自分が困った時は、その噂を聞きつけて、かつて面倒みた起業家たちが助けにきてくれるんですよ。」と感謝しつつ、障害を持ちながらも、明るく元気で働いている。

「愛は、、恨みをいだかない」(第一コリント13:5)



献金をお願い

路傍伝道ネットワークの活動のために献金をお願い致します

ゆうちょ銀行 記号00100 番号72587221 口座名 路傍伝道ネットワーク
郵便振替口座 00100-0-515129 口座名 路傍伝道ネットワーク

編集後記

二回目の緊急事態宣言が発出され、関西・中部の路傍伝道が中止になりました。活動には細心の注意を払って行っています。巻頭言でも取り上げましたが、新型コロナはマイナスと共にプラスを与えてくれています。まず祈るようになりますし、人々が福音に対して心を開いてくださいます。福音を伝え続ける自由が与えられていることに感謝します。ご一読くださり、お祈りとご支援をお願いします。



菅野直基 YouTube 検索

「菅野直基」のチャンネルに登録して、「路傍伝道」の動画をご覧ください。



参加される方へのお願い

参加する皆様は、純粋に路傍伝道をするために集まっています。送り出してくださる教会の信頼の元に行っている活動ですので避けるべきこととして、「**ここで知り合った人同士の『お金の貸し借り』『ナンパ』『ビジネスや投資の誘い』『他の集会や教会への勧誘』等の行為**」は謹んで頂きたいと思ひます。自由な集まりですが、最低限の秩序を守るためにこの様なルールを決めさせていただきます。



路傍伝道新聞

Street Evangelism Journal

路傍伝道新聞 毎月発行 発行元 路傍伝道ネットワーク事務局 代表 菅野直基
〒169-0074 東京都新宿区北新宿3-8-4-2F (新宿福興教会内) TEL&FAX 03-3371-9930 email: sgr_ch@ybb.ne.jp

2
Feb.

「コロナ福」～数えてみよ主の恵み～

路傍伝道ネットワーク代表 菅野 直基

いつの頃か、「コロナ」に「禍福」の「禍」、つまり「禍(わざわい)」という言葉をつけて呼ぶようになりました。「コロナ禍(か)」と言う度に、「コロナわざわい」「コロナわざわい」と口に出し、耳で聞き、目で見ること、それが心に深く刷り込まれていきます。

口にする度に「禍(わざわい)だ、不幸だ、大変だ」と執拗に考えるようになり、そう言わないといけなような空気が作り上げられてきました。

聖書は、災いであるはずの「バビロン捕囚」の出来事に対して、「バビロン捕囚禍」ではなく、「バビロン捕囚福」と語っているかのようです。

「まことに、【主】はこう仰せられる。『バビロンに70年の満ちるころ、わたしはあなたがたを顧み、あなたがたにわたしの幸いな約束を果たして、あなたがたをこの所に帰らせる。わたしはあなたがたのために立てている計画をよく知っているからだ。——【主】の御告げ——それはわざわいではなくて、平安を与える計画であり、あなたがたに将来と希望を与えるためのものだ。』(エレミヤ書29章10～11節)。

神様はコロナに対しても、「それはわざわいではなくて、平安を与える計画であり、あなたがたに将来と希望を与えるためのものだ」と語っておられると信じます。

私たち路傍伝道ネットワークには新型コロナを通して、

少なくとも3つの祝福が与えられました。

- ①オンラインを使って路傍伝道の番組を配信できるようになった。
- ②リアルな路傍伝道を生放送配信するようになり、アナログとデジタルが融合した活動が行えるようになった。
- ③新型コロナを警戒し、信仰によって恐れから解放され、いつも以上にメンバーの健康が守られている。

新型コロナにはマイナスの側面があることは確かですが、「コロナよ、ありがとう」とまでは言えなくても、後から振り返ってみたら「災い転じて福となす」に変わっていることに気がつくのではないかと思います。

みなさん、ピンチはチャンスです。「コロナ禍」から「禍」を取るか、「コロナ福(ふく)」と言ってみませんか?

「頭がおかしくなったんじゃないか?」と思われても、そのことがきっかけで聖書について語り合えたり、伝道ができた、幸せな気持ちになれるはずです。

聖歌604番に「のぞみも消えゆくまでに」という賛美歌があります。「のぞみも消えゆくまでに 世の嵐に悩むとき 数えてみよ主の恵み 汝が心は安きを得ん 数えよ主の恵み 数えよ主の恵み 数えよ1つずつ 数えてみよ主の恵み」。

今日、コロナを通して与えられた主(神様)の恵みを数えてみませんか?きっと気持ちが切り替わり、楽しい気持ちになり心が感謝で溢れるのではないかと思います。

先輩が築いた土台の上での伝道

1月2日(土) 14時～17時【初路傍伝道】『明治神宮前 路傍伝道』

初詣の時期に明治神宮前で行う路傍伝道は3回目になります。1回目はCGNTVの取材が入り、20人で伝道を行いました。昨年も20人が集まって路傍伝道をしました。今年は10人で伝道しました。新型コロナウイルスが流行している中でよく集まってくれたと思います。



初詣の時期に明治神宮前で路傍伝道が行える背後には、キリスト看板で知られている聖書配布協力が築いた土台があるのです。かつてブローマン宣教師は明治神宮前で路傍伝道をしたことで逮捕されて、「牢屋に入りたくなければ活動を止めなさい」と脅かされました。「聖書のみを語る。境内に向かう参道では活動をしていない」などの条件で釈放され、公に活動が許可されるようになりました。

私たちが、ゴスペル路上ライブと書かれたのぼり旗を4本上げた途端、警官が飛んで来ました。それほどデリケートな場所なのです。警察の詰め所があり、護送車が停車し、50名く

らいの警官がパトロールしています。「キリスト教の伝道の街頭演説とチラシ配りです」と言った途端、さっと帰って行かれました。前述のように、ブローマン宣教師の過去の歴史のおかげだからだと思います。ありがたいなと思います。

3時間、街頭演説と聖書とマンガ聖書とチラシの配布を行いました。初詣に来られた方々が大半ですので、キリスト教に無関心な人も多いですが、同時に、宗教的な話がダイレクトにできますので、興味を持っている方々もいました。また、たくさんの警官が仕方なく生と死の問題に触れながらの聖書のメッセージを聞いておられました。役得ですね。



一致の伝道に力がある

1月4日(月) 17時～19時【第1月曜日定例】『川口駅西口 路傍伝道』

政府が新型コロナウイルス感染拡大防止のために「緊急事態宣言」発出の検討をしていると報じられる中、3～4名でスタートしました。しかし、後半になるにつれて1人、2人、3人と参加してくださり、最終的に14名で伝道を行いました。

大晦日に東京のコロナ感染者数が1300人を超え、以降も軒並み800人を超えていることが関係しているかどうかわかり



ませんが、聖書やチラシをもらってくださる方が少ないように感じました。反面、陽気な外国人が音楽に合わせて踊り出し、20分くらい滞在

されました。

少数でスタートした時には、空回りしているようなもどかしい感じでしたが、後半に参加者が増えた時には活動が力強くなり、配布にもターボがかかった感じでした。一致して力を合わせて伝道をする喜びとありがたみを感じました。一致の伝道には力があると痛感しました。



献品のお願い

Request for
Musical instruments donation

郵送先: 169-0074 東京都新宿区北新宿3-8-4 2F
新宿福興教会内 路傍伝道ネットワーク事務局

路上で演奏するために使う**楽器**(ギター、ベース、アコーディオン、バイオリン、キーボード、パーカッション、拡声器)など。
また、広報活動のために、iPhone8以上の携帯、パソコン、タブレット、プロジェクター、車、バイクなど、使わないで眠っているものなどがございましたら、ぜひ路傍伝道のために活用させてください。

キリスト教の根本メッセージを語る

1月7日(木) 17時～19時【山手線シリーズ】『西日暮里駅 路傍伝道』

政府は、この日に首都圏の1都3県を対象に緊急事態宣言の再発令を決定しました。緊急事態宣言の影響は、何日か前から出ていますが、西日暮里駅ではその緊張感や重さを肌身で感じました。

路傍伝道ネットワークでは、伝道の活動を継続する予定ですが、「密閉・密集・密接」の「三密」を避けて疫病の感染防止を徹底しています。

このような社会情勢の中で、今まで前面に出て語ってき



たキリストの愛と優しさと癒しのメッセージと共に、キリスト教の根本メッセージである「罪の赦し、死からの復活、永遠の命」をストレートに語る必要を感じます。そこに人間が持つ普遍的な問題と必要があると思います。人々の心の根幹に触れるメッセージを語ることで、人々の心に響き、救いの必要性に目が向けられるのではないかと思います。

聖書は、「彼らは、わたしの民の傷を手軽にいやし、平安がないのに、『平安だ、平安だ』と言っている」(エレミヤ6:14)と語ります。この「平安」は、原文のヘブル語では「シャローム」で、「平和」「平安」「繁栄」「健康」「充足」「知恵」「救い」「勝利」などの意味が含まれます。世の中には手軽に癒すものしかありませんが、イエス・キリストには真のシャロームがあります。



命を懸けられるって本当に幸せ

1月10日(日) 19時～21時【第2日曜日定例】『大久保駅 路傍伝道』

緊急事態宣言が発出されても、ここ大久保の街は、以前と比べて何一つ変わらないような異国の雰囲気です。しかし、音楽を控えて、街頭演説と聖書やチラシ配布に徹しました。

最初の19時～20時頃は寒さを感じず、むしろ温かいと感じましたが、終了の21時頃に近づくにつれて、体が冷え切り、体の疲れを感じました。緊急事態宣言下において最大限の配慮をし、かつ一生懸命に伝道をしたからだと思いますが、命を懸けられる使命と働きがあることに幸せを感じます。信仰の先達たちが殉教をしていった時も、きっと命を懸けて伝道をしていたので恐れを感じることなく、何の悔いもなく天に凱旋して



行ったに違いないと思います。ヨハネ2章に出てくるカナの婚礼で水がぶどう酒に変わった奇跡は、「宴会の世話役はぶどう酒になったその水を味わってみた。それがどこから来たのか、知らなかったの、——しかし、水をくんだ手伝いの者たちは知っていた」(ヨハネ2:9)とあるように、伝道の戦いをした人にだけ体験できる世界があると思います。その戦いを一緒にして参りましょう。



福音の宣言と共に、対話をしながらの伝道を

1月14日(木) 17時～19時【埼玉シリーズ】『越谷駅 路傍伝道』

緊急事態宣言下で路傍伝道をする上で気をつけるべきことは三密です。路傍伝道自体は野外での活動ですので、三密を避け、マスクや手袋などを着用してさえいれば実際は問題ありません。心配なのは電車の移動です。これは各自に注意していただいています。また会食はリスクが高いため、緊急事態宣言が解除されるまで中止にしています。



ので、福音によってそれを満たすことができるのではないかと思います。

キリストがサマリヤの女(ヨハネの福音書4章に登場する女性)に伝道をした姿は、まさに対話を通して伝道をし、女性を救いに導くものでした。

「ひとりのサマリヤの女が水をくみに来た。イエスは『わたしに水を飲ませてください』と言われた。弟子たちは食物を買いに、町へ出かけていた。そこで、そのサマリヤの女は言った。『あなたはユダヤ人なのに、どうしてサマリヤの女の私に、飲み水をお求めになるのですか』。——ユダヤ人はサマリヤ人ときあいをしなかったからである——イエスは答えて言われた。『もしあな



人がウイルスを嫌っても、ウイルスは人を選ぶことなく、接触するならば直ちに感染してしまいます。神様はウイルスを見えないように造られました。それは、目に見えないものが存在することで神に信頼することを覚え、より神に近づき、信仰が強められるためです。

今日の路傍伝道は、何人かの人に個人伝道をしました。その人は、「このように心が癒されるような音楽はとていいですね」と言うていただきました。緊急事態宣言下で、多くの人は足早に家路を急いでいますが、「フツと心が癒される音楽がありがたい」と言うていただきました。伝道とは、ただ福音を宣言するだけではなく、対話によって確実に心に福音を届けることではないでしょうか。福音の宣言はとても大切ですが、とすると、「私は正しい人、だからあなたを助けます」と、上から目線

たが神の賜物を知り、また、あなたに水を飲ませてくれと言う者がだれであるかを知っていたなら、あなたのほうでその人に求めたことでしょうか。そしてその人はあなたに生ける水を与えたことでしょうか』・・・(ヨハネの福音書4:7～10)。

緊急事態宣言下だからこそ、通行する方々の心に耳を傾ける必要を感じました。イエス様がサマリヤの女に伝道なさった姿を思い起こし、対話をしながら伝道することの大切さを教えられました。



JR 山手線一周路傍伝道

エリコの戦い

そのとき、主はヨシュアに言われた。
「見よ、わたしはエリコとその王と勇士たちをあなたの手に渡す。
あなたたち兵士は皆、町の周りを回りなさい。
町を一周し、それを六日間続けなさい。
七人の祭司は、それぞれ雄羊の角笛を携えて神の箱を先導しなさい。
七日目には、町を七周し、祭司たちは角笛を吹き鳴らしなさい。
彼らが雄羊の角笛を長く吹き鳴らし、その音があなたたちの耳に達したら、民は皆、関の声をあげなさい。」

ヨシュア記 6:2-5

私たち路傍伝道ネットワークはエリコの戦いのように街を一周し、祈りを捧げます。(山手線祈禱会は休止中)そして賛美の角笛を携え、街頭で福音を宣べ伝えます。

コロナ禍の今こそ伝道しよう！

1月18日(月) 18時～20時【第3月曜日定例】『新宿駅 路傍伝道』

前回の緊急事態宣言が出された時には、すべての路傍伝道を中止して、オンラインでの伝道放送に切り替えました。今回は、遠方の活動は中止したものの、通常の活動はそのまま行っています。路傍伝道は野外の活動なので、ツボを押さえれば問題はほとんどありません。

一方、オンラインでの伝道放送をする場合は、出演者はマスクを取りますので、最低限のメンバーで放送をしても、感染リスクがないわけではありません。

今日は、20名が集まって力を合わせて伝道をしました。音楽と演説、そして、聖書とチラシとマスクを配布しながら伝道しました。私たちの伝道に反応してくれる方々はとても多いです。伝道に対する否定的な考え方を変えなければいけない時がきていると思います。

めの仕事は自粛しよう」と考える人はまずいないのに、神様のための伝道には「コロナだ



から伝道を自粛しよう」と考える人がいるものです。しかし、感染に気をつけながらも、「コロナ禍の今だからこそ伝道しよう」と考え方を変えていきたいと思います。もちろん、伝道対象者の感情を考慮しなければいけません。だから、緊急事態宣言が解除されるまでは、いつも以上に感染拡大防止に努めていますし、ギターなどで元気に演奏して歌うことを控えて、キーボードやバイオリンなどで、しっかりと癒しの音楽を届けるように心がけています。



最高のものを神様に捧げる

1月31日(日) 19時～21時【第5日曜日定例】『大久保駅 路傍伝道』

緊急事態宣言が一部三県に加え、関西の二府一県や愛知県などでも

出されたことから、関西～中部の遠征伝道旅行が中止になり、一週間活動が休止になりました。みなさんにとって久しぶりの路傍伝道でしたので、なかなかエンジンがかからない状態でした。しかし大切なことは、その時その時の最高のも



緊急事態宣言発出により、関西・中部宣教旅行中止！

×1月26日(火)『【大阪】難波駅(高島屋前)路傍伝道』17時～19時
 ×1月28日(木)『【兵庫】武庫川駅(尼崎側)路傍伝道』17時～18時
 ×1月29日(金)『【愛知】名古屋駅(ナナちゃん前)路傍伝道』17時～19時
 ×1月30日(土)『【静岡】静岡駅(北口エスカレーター下)路傍伝道』11時～13時

緊急事態宣言が、首都圏の一都三県(東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県)に加え、関西の二府一県(京都府、大阪府、兵庫県)、さらに、愛知県、岐阜県、栃木県、福岡県などでも相次いで発出されたことを受け、即座に関西・中部宣教旅行の中止を決定しました。

首都圏から行く私たちをはじめ、現地で参加してくださる予定だった多くの人たちからの「残念だ!」と言う声と共に、「今回は致し方ないですね」という声が聞かれました。神様が守ってくださ



1年前の大阪での伝道の様子

たとしても、支援者や行く先々での地元の人たちの心配や感情を考えたら、英断と言うよりも、むしろ当然とい

う感じがします。

しかし、この宣教旅行を実現させるためには、たくさんの人が関わってくださり、動いてくださり、祈ってくだ

さっていました。最善の努力をして準備をし、備えてきましたが、神の導きがありましたので、それに従うのが最善です。

神は、私たち人間の目が見る最善を最善とは見ておられないと思います。神はいつでも、「善」の道を閉ざし、「最善」の道を開かれます。今回もそのことを思い出させていただきました。



1年前の名古屋での伝道の様子



1年前の静岡での伝道の様子

生まれ故郷への伝道視察

1月29日(金) 11時～18時【新規伝道箇所開拓視察】『武蔵小山駅、戸越銀座駅、荏原中延駅、中延駅、旗の台駅、戸越公園、大森駅、大井町駅』



今日は、生まれてから成人するまで住んでいた生まれ故郷の東京都品川区を訪問して伝道しました。その後、東京都東村山市、米国テキサス州ダラス市、韓国ソウル市、東京都大田区、東京都渋谷区と引越しを重ね、現在の東京都新宿区に住んで20年になりますが、久しぶりに故郷に戻って来て懐かしい気持ちで一杯でした。

生まれ育った町は、武蔵小山商店街、戸越銀座商店街、

中延商店街、荏原町商店街などに囲まれていましたが、どの商店街も健在でした。

武蔵小山駅、戸越銀座駅、荏原中延駅、中延駅、旗の台駅、戸越公園、大森駅、大井町駅の7駅と1つの公園のうち、

まともに伝道ができたのは、武蔵小山駅、大森駅、大井町駅の3駅でしたが、それぞれの場所で祈り、視察をすることができました。世話人は4人ですが、今日は急遽だったため2人で行動しました。



一般社団法人
日本全人治癒協会
ボディケア、心ケア、メンタルケア

〒169-0072 東京都新宿区大久保2-5-1 スプリーム大久保ビル6F
TEL 03-6302-1016 FAX 03-6302-1017

サンビルダーグループ
桑ノマエ
株S.マネージメント
株K.マネージメント

株サンメンテ
黄能真珠希
株R.マネージメント

株サン・アド
株阪神クリエート
株M.マネージメント

〒651-0068 兵庫県神戸市中央区旗幟通6丁目2番2号サンビルダー55ビル
TEL : 078 (231) 5550 FAX : 078 (231) 1200
email : sun@sunbuilder.jp

「急募!神の働き人」 福音宣教のために共に労ってくださる人

「収穫は多いが、働き手が少ない。だから、収穫の主は、収穫のために働き手を送ってくださるように祈らない。」(マタイ9:37-38)

路傍伝道ネットワーク

路傍伝道新聞の定期購読者と、10部～50部単位でまとめて受け取って、棚に置いてくださったり、配布してくださる教会や諸団体を募集しています。購読料・送料は無料です。

路傍伝道ネットワークの奉仕

私たちの路傍伝道は、「多様性」と「統一性」を大切にする「総合伝道」です。以下の5つのチームに分かれます。

1.賛美チーム

音楽を通して神の愛と神の国の力を表現し、聴衆を神ご自身に向けさせます。

①「賛美リード」②「アシスト・クワイヤー」③「楽器奏楽」④「踊り」等で構成されます。

2.チラシ配布チーム

チラシ配布は、愛する心で行ってください。謙遜かつ、人々を悪魔の火の中から救い出す決死の思いで配布します。

3.説教者

説教者は、ストレートに聖書の御言葉と福音を語ります。

4.とりなしの祈り

とりなしの祈りは、イスラエル軍がアマレク軍と戦争をした時に、アロンとフルがモーセの両腕を支えて戦いを援護したように、祈りによって伝道の援護をします。

5.ディレクター

ディレクターは、広く全体に目を配り、適切な判断をし、指示を出し、対応をします。「音響」「プロデューサー」「舞台監督」「カメラマン」などを兼任します。

最後に

①「無理をしない」

参加者の中で、持病や障がいを持っている人、妊娠中や体調が優れない人、疲れている人は、差し支えない範囲で、世話人の「菅野」「濱村」「鈴井」「杉山」に伝えてください。無理してがんばる必要はありません。

②「見られている意識を持つ」

全員が「ステージに立っている」意識を持ってください。人は上辺を見ます。清潔で、印象の良い身なりになるように心がけてください。また神様も、古の聖徒たちも注目しています。サタンは隙を狙っています。神の栄光が現わされることを祈り、口論やトラブルを避けてください。

③「チームプレーをお願いします」

路傍伝道ネットワークは、自由かつ、フラットな関係で伝道しますが、神の軍隊です。一致を心がけてください。また、たとい問題が起こっても、一人で解決しないで大丈夫です。仲間に助けを求めてください。

『路傍伝道ネットワーク』のビジョン

路傍伝道ネットワークは、2017年3月13日に原宿駅からスタートし、山手線外回り30駅を順番に伝道しています。また、日本全国47都道府県を少しずつ巡回路傍伝道をしながら、日本全国に福音を満たしていきます。同時進行で、賜物発掘や賛美チームのスキルアップ、メンバーの一致と霊的成長のために、月に一回賛美集会を行なっています。また、山手線を東京のエリコの壁に見立てながら、電車の中で祈禱会を行なって、日本の中心である東京からリバイバルが始まっていくように夢見ています。(新型コロナウイルス感染拡大防止のため、賛美集会と山手線祈禱会は休止中です。霊的に備えてご参加ください)

『路傍伝道ネットワーク』の始まりの経緯

2016年9月に菅野代表が大阪の仲間たちと路傍伝道を始めた事がきっかけで、日本全国での路傍伝道を示され、JSE(Japan Street Evangelism Ministry)を結成しました。その後東京各地で伝道をする間に、少しずつ仲間が加えられ、菅野直基代表とその仲間たちにより「路傍伝道ネットワーク」が結成されました。今では、日本全国に多くの仲間が与えられて、共に力を合わせて路傍伝道を行っています。

出前牧師 カンちゃん
新宿福音教会牧師 菅野直基
冠婚葬祭司式・説教・音楽奉仕
新宿区北新宿3-8-4 シャローム北新宿ビル2F
TEL&FAX 03-3371-9930
Email : sgr_ch@yahoo.co.jp URL : https://sgr-ch.net

ライフプランナー
下田 大気
Hiroki Shimoda

株式会社BBEコンサルティング
〒160-0022 東京都新宿区新宿2-13-10 エルハイム新宿707号
TEL 03-6674-2636 FAX 03-6685-9263 Mobile 090-8011-1000
Email prio_cococa100@yahoo.co.jp URL https://bbe.tokyo

路傍伝道の活動の予定を知る方法
Facebookでチェック
路傍伝道の活動予定は「路傍伝道ネットワーク」のグループページを通して告知致します。最新の予定は、「アナウンス」をクリックすると見ることができます。

Facebook環境をお持ちでない方には、路傍伝道新聞と一緒に予定表を郵送します。
sgr_ch@ybb.ne.jp までメールをくださるか、郵送で下記住所まで、郵便番号・住所・氏名をお知らせください。
新宿福音教会内 路傍伝道ネットワーク事務局:〒169-0074 東京都新宿区北新宿3-8-4-2F